



美しく尾を引いて流れる雌滝



激しく流れる雄滝

皇子の滝

皇子の滝は、裳掛出張所の前を流れる西川の川沿いを北西に約1キロ行ったところにあります。

昔、黒井山に参る若年僧侶が水で清めたという皇子の滝は、雄滝、雌滝からなる夫婦滝。元禄12(1699)年5月、新井白石が詠んだ漢詩「虫明八景」のうち、「黒井の晚鐘」の題注に『殿(寺)の東南に泉があつて水をだす、色常に黒し。西北殿を四、五百歩は

なれると、飛瀑(滝)並び落つ、合わす流れを名づけて雌雄の瀑と』と紹介されています。また、伊木家6代目忠興(享保年間)の代に、この滝で野点が行われ、このころからその名を知られるようになりました。

現在は、昔と比べて水量が乏しくなりましたが、20〜30ミリの雨が降ると、2、3日は滝の流れを楽しむことができます。



この看板から遊歩道を約600m進むと、滝が見えてきます



編集後記



▼本紙特集で紹介している、高校生たちの取り組みやボランティア活動の様子取材しました。高校と公民館の協力・連携で『こうこうネットワーク』がつくられ、多くの高校生が、楽しそうに活動していました。▼「こんにちは」と爽やかなあいさつしてくれる高校生たち。緊張しながらも、ボランティアでそれぞれ自分の持ち場をこなす生徒たちの表情は、キラキラと輝いて、まぶしいほどでした。

恭子

▼先日、かきまつりの取材に行きました。海のミルクと呼ばれ、口いっぱいに広がる香りと旨みがあふれる栄養満点のカキ。その旨みが凝縮されたカキみそ汁をおいしそうに食べる子どもたちのほくほく顔、満足顔、笑顔、写真撮られるのちよつと嫌そうな顔、いっぱい撮りました。紙面の都合上全部見せられないのが残念ですが、まつりに来られた皆さんの幸せそうな顔がとても印象的でした。

友治



市ホームページ
携帯電話用QRコード

市では最新トピックス、市からのお知らせ、災害情報など、ホットな情報をメールマガジンで配信しています。次のアドレスから登録できますので、ぜひ一度アクセスしてみてください。
メルマガ登録ページのアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp/i/>
QRコード(二次元コード)の読み取り可能な携帯電話の人は、左の画面からアクセスを。